

全国総会四国大会を開催して

愛媛頸髄損傷者連絡会 事務局 鈴木 太

まずこの場を借りて、全国総会四国大会「おいでまい四国～瀬戸内の風を感じに～」は、大きなトラブルなく無事に終わることができました。参加された方々、運営委員会に参加の方々、この大会に関わっていただいた方々、本当にありがとうございました。

2012年愛媛県松山市で愛媛支部を中心に開かれた総会から5年、今回は運営メンバーを四国全体から募り、4回にわたって運営委員会を開催しました。四国4県から様々な方々に参加していただき内容を検討しました。愛媛支部だけで考えていた時と違い、その地域の特色を生かした内容や問題が検討され、運営委員会は四国内の頸髄損傷者の交流と同時に情報交換の場となることができました。このような流れの中から愛媛・香川に続く徳島支部の設立が進められることが、この四国大会を行った最大の成果ではないかと思っています。

当初計画されていた四国大会は、土曜に講演・総会・交流会、日曜は各自観光という消極的な内容でした。議論を深める中で、ただ話を聞くだけよりこの地域で抱える問題や聞いてみたいことが直接聞けるようなシンポジウムになればと、今回の「ストーマ」にテーマを絞ったシンポジウムになりました。そして、せっかく橋を渡り四国へ来ていただいたのだから、私達で四国を案内したいということで、島でのバーベキュー、丸亀城ツアーの提供となりました。各感想は参加者からの感想をお読みください。

今回、会場や宿泊先の手配で動いてみて改めて大きな大会を行う難しさを思い知らされました。

大きなトラブルが無かったと言いましたが、小さいトラブルはいっぱいありました。前日にツインの部屋が足りず、シングルで対応してほしいとホテルから連絡がありました。なかなかホテルの担当者に介助者と同じ部屋という理解は難しかったようです。数名の方にはホテルの移動をお願いしました。当日まで参加キャンセルの連絡が入りました。この点は事前に入金いただいていた部分でしたので、こちらとしては連絡のみでした。

しかし、最後にはプロジェクター投影用のパソコンを忘れたのに総会会場で気が付きました。パソコンを探し回り、参加者にパソコンを借りて会場担当者の計らいでケーブル等を貸していただき無事に投影できました。

どんなに準備をしてもこんなものかと思いましたが、集まった会員からは「そんなものよ。どうにかなったじゃない」と優しい言葉をかけていただきました。

私は丸亀城ツアーをサポートしましたが、天気のせい？（当日雲一つ無い快晴でした）こんなに城までの坂道は長かったかと思いました。もう少し余裕を持った準備・進行ができればよかったなと感じています。

何はともあれ、終わった日からぐっすり寝られたということは、自分の中で大きなものが終わったのだと改めて感じることができました。島国四国は遠そうで近いところです。みなさん気軽に遊びに来てください。